

採択理由

プログラム名：先端融合領域イノベーション創出拠点の形成

課題名： 「光医療産業バレー」拠点創出

代表者名： 岡崎 俊雄

所属機関名： 独立行政法人日本原子力研究開発機構

コメント

レーザー小型加速器によるがん治療などのための医療機器の開発を中心に、関西光科学研究所を中核として多くの企業を巻き込んだ拠点作りの提案である。制限付採択による取り組みを経て、課題の再定義、運営・評価組織の整備が進み、また協働体制も強化されている。独立行政法人の拠点として、大学とは異なる独自の成果が得られることが期待される。レーザー小型加速器による粒子線がん治療器という独創的技術の幅広い展開を目指す拠点であり、粒子線のがん治療への応用は、装置の小型化もあり、可能性が高い。光医療産業拠点構想の重要性は理解できる。協働機関との連携はユニークな体制が提案されている。多くの企業が参加するリサーチ・commonsの運営について、知財の取り扱いなど、留意の上進めていただきたい。提案機関のより主体的なコミットにより、医療以外への応用分野も視野に入れ、イノベーションの実現、新規産業の創出につながるような取り組みが期待される。